

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長	電話番号	0852-22-5132
----------	------	------	--------------

事務事業の名称	島根県獣医師確保緊急対策事業
目的	(1) 対象 獣医系大学に在学し、将来、島根県職員として獣医師の業務に従事しようとする学生 (2) 意図 修学資金を貸与することにより、獣医師を必要とする県の職場の獣医師を確保し、県の畜産振興の推進、家畜衛生行政及び公衆衛生行政の充実を図る
事業概要	県職員獣医師の新規採用者の確保が、全国的に非常に厳しい状況にあり、本県においても今後多数の獣医師職員が退職することに伴い、充足できない事態が懸念される。そこで、島根県獣医師修学資金制度を創設するとともに、各種の獣医師確保対策をおこなうことにより円滑な獣医師確保に努める。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	獣医修学資金貸与者数	目標値	10.0				人
	式・定義	貸与決定者/貸与予定者数×100	実績値	9.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	10,800	14,400
うち一般財源(千円)	9,195	12,795

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生、O157等の食肉に関連する食中毒の発生などが大きな社会問題となっている状況で、獣医師職員の責務は増加している。近年は採用予定者数に採用者が満たない状況が続いていることから、採用年齢を引き上げて幅広い人材確保に努めているが、新卒者を確実に確保することのできる、この事業の継続的な取り組みが必要である。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

これまで本事業で18名に貸与を行っている。このうち既に11名が本県に獣医師として就職し、さらにうち6名が県外出身者であり、確実に効果が得られている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 新規採用募集人数に採用者が満たない状況が続いている。
  - 修学資金貸与者もH27は貸与予定人員に満たなかった。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 獣医系大学に進学する島根県出身者がもともと少ない。
  - 卒業後は小動物診療を志す学生が半数を占める。
- ③原因を解消するための「課題」
- 県内から獣医系大学への進学者を増やす。
  - 県外出身者の本県への就職を誘導する。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

県内高校への説明や、獣医系大学での就職説明会・インターンシップなどで、公務員獣医師の業務内容、必要性などを説明し、他県出身者にも就職を促すとともに、できる限り県内からの獣医系大学への進学者を増やしていく。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。